

平成27年度化学工学会 インターンシップ成果報告

研修先企業名：東レ株式会社

名古屋工業大学大学院
工学研究科物質工学専攻1年
中村紀久

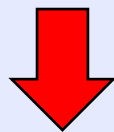
インターンシップ成果報告

氏名	中村紀久			
所属	名古屋工業大学大学院	学科 専攻 学年	工学研究科 物質工学専攻 修士一年	
研修先企業名	東レ株式会社			
	場所	瀬田工場	部署	環境・エネルギー開発C 企画推進室
研修テーマ	電池用スラリー製造工程の可視化			
研修期間	8月17日～9月11日(約1ヶ月間、土日は除く)			

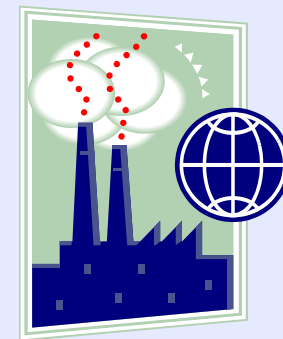
応募経緯と目的

経緯

- ◆ 企業で働くイメージを具体化させたい
- ◆ 大学で学んできた化学工学の知識がどのように企業で活かされているか知りたい



- ◆ 化学工学会のインターンシップに参加したい！



目的

企業と大学の違い

職場の雰囲気

化学工学の価値

研修内容①

主な目標

- ◆ 電池用スラリー製造工程における混合過程の可視化
 1. 可視化のためのモデル液の作成
 2. ビデオカメラによる混合過程の撮影
 3. 撮影した映像からの混合状態の考察
 4. 成果発表

私の専門分野が攪拌！ 専門分野をやらせて
いただき主体的に研修を行うことができた！！

研修内容②



テーマ以外での実施内容

- ◆ 安全教育(指差呼称、手すり持ち、機器操作)
 ➡ 朝礼、昼礼、終礼での安全確認 **ヨシ!**
- ◆ 清掃活動(3Sの徹底)
- ◆ 施設内の見学(どのような研究、評価が行われているか)
- ◆ 他企業とのミーティングに参加
 ➡ 営業の仕事や会議の雰囲気まで知ることができた
- ◆ 作業の補助(社員の方々の業務を幅広く知れた)

研修で学んだこと



◆ 企業と大学の安全意識の違い

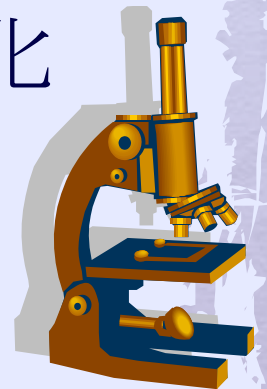
企業での徹底した安全考動には驚かされた！

◆ コミュニケーションの重要性

年齢や役割の異なる様々な人と同じ職場で働く

◆ 時間管理

実習を通しての計画や1日の業務の明確化



今後の研究に活かせること

今回の研修では自分の専門分野を行った

→ 今後の研究をやる上でとても重要な知見を得ることができ、直接今の研究に役立っている

これは化学工学会のインターンシップ
でしかできない！！

安全に対する意識の改善

→ 普段の研究活動でより安全を意識して実験を行うようになった

感想

公私ともに充実した一ヶ月だった

研修: 研修生が自分ひとりだったのでマンツーマンでご指導いただき、より主体的に研修が行えた。

私生活: 私にとっては初めての一人暮らしとなり、大きな人生経験となった。また、休日には京都観光や大阪に出かけ非常に充実した一ヶ月となった。



後輩への紹介

化学工学会にしかできない
インターンシップがある！

これほど専門分野に密着した研修を行えるのは
化学工学会にしかない！！

専門分野に密着した長期のインターンシップをお
考えの方にはとても良い機会だと思います！

謝辞

インターンシップでは企画推進室の皆様方をはじめ、環境・エネルギー開発センターの方々には大変お世話になりました。

普段の学生生活では決して体験することのない有意義な1ヶ月間を過ごすことができました。

インターンシップという貴重な企業体験の場を提供していただきました東レ株式会社様にこの場をお借りして御礼申し上げます。

本当にありがとうございました。